



# とっぱずれ



銚子東ロータリークラブ Weekly Bulletin NO. 2127



マリーナの夕日 提供：宮川 雅夫 会員

## 銚子RC・銚子東RC合同例会

第2127回 例会 平成28年1月27日

\*\*\*\*\*

点 鐘 … ホストクラブ銚子RC

宮内 龍雄 会長

国 歌 … 君 が 代

ロータリーソング … 四つのテスト

来訪ロータリアン紹介

… ホストクラブ銚子RC

親睦活動・家族委員会

会 長 挨拶 … ホストクラブ銚子RC

宮内 龍雄 会長

幹 事 報 告 … ホストクラブ銚子RC

佐藤 直子 幹事

ニコニコBOX … 親睦活動・家族委員会

卓 話

「七代目が語る二宮金次郎

～激動の時代を生き抜く秘訣～

リレイト代表 京都大学博士（教育学）

中桐 万里子 氏

出 席 報 告 … 出席・プログラム委員会

来週のプログラム（平成28年2月2日）

\*\*\*\*\*

卓 話

「未定」 釜谷 藤男 会員

お食事「大新」



## Be a gift to the world

### 世界へのプレゼントになろう

2015～2016年度 RI会長 K.R. ラビンドラン

第 2126 回例会(平成 28 年 1 月 19 日)

## 会長挨拶

藤崎 一成

先日「商家の家訓」という本を読んでいたところ、野田名門のキッコーマンの茂木家に関する研究が掲載されており、大変目を引きました。本書によれば、江戸時代後期から、銚子、佐原、野田などで醤油の醸造が盛んに行われていたとして、銚子においては1616年に田中玄蕃がヒゲタを、そして1700年に紀州から移り住んだ濱口儀兵衛がヤマサを創業した旨が記載されております。ちょうどその頃、野田では高梨家、茂木家、堀切家など7件の醸造家が醤油を製造しておりました。

茂木家の凄いところは茂木七左衛門を名乗る本家筋に加えて、五つの分家があり、合計六家が協調して家運の発展に努めたという点です。本家と分家は強い繋がりを持ち、例えば、ある分家は本家の経営する店で自社製品を売り、本家に利益がもたらされるように努める旨の家訓を定めておりました。本家も分家を助けており、分家において当主が急逝した時などは、幼い次期当主に代わって一旦、本家が事業の一切を引き受け、その後、次期当主が成長した頃を見計らって本家より分家に再度営業権を受け渡すなど、一門が互いに力を合わせ発展するシステムが構築されておりました。

その中「野田の醤油王」の異名で呼ばれたのが、初代茂木啓三郎です。初代茂木啓三郎は、これまで人力に頼っていた醤油醸造に蒸気機関を取り入れ、圧搾などの作業効率を飛躍的に向上させる「野田式水圧圧縮機」を開発するなど、新たな醤油の製造法を続々と編み出しました。この野田の醤油王の凄いところは、これらの技術を独占せずに同業者に広く公開し、日本の醤油業界の技術向上に大いに貢献したという点であります。「自分だけ儲かれば良い」と考えず業界の発展を第一に考えた姿は尊敬の念が込み上げました。

さらに本業以外でも、当時の野田は水質の悪かったことから、私財を投入して井戸を掘り人々に提供したり、学校や道路建設などにも注力したとのことで、まさにロータリーで説くところの奉仕精神の体現者と言っても過言ではありません。

また、大変面白く思ったのが、明治32年に、各醤油醸造業者の手元に眠っている余剰資金を、世のために活かすべく独自の銀行を作ったことです。その銀行の名は「野田商誘銀行」といい、名前は醤油からとったダジャレです。この商誘銀行は、堅実な経営をする銀行で、明治34年の金融恐慌も乗り越え、1910年ごろには千葉県内の銀行の中では大手に成長しました。その後、政府の要請により千葉銀行に営業権を譲渡し、現在は建物のみがその形を残しておりますが、当時の醸造家がいかに豊富な財力を持っていたかを窺い知る思いであり、社名のユニークさも目を引きます。

そして初代、茂木啓三郎の死後、キッコーマンを世界的ブランドにしたのが、二代目の茂木啓三郎であります。この二代目茂木啓三郎、本名は飯田勝次といいますが、明治32年に富浦村、現在の旭市に生まれた人物なのであります。勝次は、東京商科大学(現在の一橋大学)を卒業後、野田醤油に入社し、近代的な労使関係を構築するなど、優れた経営手腕を発揮し、茂木家に認められ、昭和4年に婿入りを果たし、その後、二代目啓三郎を襲名、昭和37年に同社

社長に就任しました。大変すぐれた人物であったとのことで「野田醤油、中興の祖」と呼ばれているそうです。中興の祖が隣街、旭の出身であったことには驚きました。

ちなみに現在、キッコーマンの会長は茂木友三郎さんですが、我らと同じロータリアンであります。所属は東京RC。2010年には会長を務められております。

茂木啓三郎の公益的、かつ、独創的な精神によりキッコーマンが発展していったものと思わずにはいられず、私達もまた奉仕の理念の実践により自社を発展させて参りたいものです。

それでは今週もロータリー哲学の実践により、皆様方の御事業がますますの発展を遂げられることを切に願いつつ、1月第2例会の会長挨拶とさせていただきます。

## ※参考文献※

(商家の家訓 経営者の熱きところ  
ざし 吉田實男著 清文社刊)



## 幹事報告

- 1・R I 財務部より  
国際ロータリー一人頭分担金請求書 受領
- 2・ガバナー事務所より  
・米山記念奨学生次年度世話クラブ・カウンセラー引き受けについてのお願い  
・地区大会 芸術祭作品出展のお願い (再送)  
・地区大会 一般参加公募のご案内 (再送)  
・地区大会登録確認について(最終のご案内)  
・地区大会 決議案文の事前送付 受領
- 3・ロータリー米山記念奨学会より  
ハイライトよねやま 190 受領
- 4・市川シビックRCより  
創立 25 周年記念式典開催のご案内 受領

## 卓 話

### 「RYLA参加報告」

千葉科学大学ローターアクトクラブ  
幹事 米川 直志 氏

千葉科学大学RACの今年度幹事を務めております米川直志です。この度は、昨年引き続きRYLAセミナーへの参加をご支援していただきありがとうございました。2回目ということで、昨年の反省を生かしリベンジするということもかねて参加させていただきました。



今回参加するにあたって、改めてRYLAセミナーとは何かというところから再確認しました。まずは、RYLAセミナーの始まりについてです。始まりは、1959年オーストラリアクイーンズランド州の100周年式典にありました。イギリスの名代にアレキサンドラ女王が派遣され

たとき、ブリスベーンRCがホストになり、王女と同世代の青年たちを式典に招待して参加させ、王女と会わせるというプログラムを作成しました。これらの青少年たちの資質の良さに感心したロータリアンたちは、この催し毎年行うことを決めました。各クラブから2名の青少年をブリスベーンに招待し、文化、社会、教育のプログラムに参加させました。これが、RYLAセミナーの誕生です。日本では1976年にスタートし、当2790地区では1978年11月に第1回のセミナーが開催されました。今回で第39回を迎えました。続いて、現在行われているRYLAの概要です。大まかな内容としましては、ロータリアンと青少年が1泊2日の間、寝食を共にし、共に考え、共に協議し、懇親しながら心のふれあいを通して、青少年は知恵とリーダーシップを身につけ、ロータリアンは、若者たちとのコミュニケーションスキルを再確認するというものです。教材は歩行ラリーを使い、参加者に「事実とはなにか」「真実とはなにか」これまでの生活で会得してきた知識や経験が「先入観」「思い込み」「既成概念」となり多くの間違いを犯すことを実証し、考える機会を与えるというものです。

ここからは、実際の内容について話していきたいと思います。まず、参加者はユニットとよばれる2つのグループに分かれ、さらにユニット内でも数チームに分かれて研修を行いました。初日はルール説明から始まるわけですが、ここでさっそく参加者は苦戦を強いられます。このセミナーで行われる歩行ラリーは一風変わったところがあります。まずは、地図です。コマ地図と呼ばれるものを使用しチェックポイントを回っていきます。このコマ地図はなかなか解読が難しいです。実際に見ながら歩いてみると、どこまで歩けばいいのか、本当にこの道で会っているのかなど参加者を苦戦します。2つ目が歩行速度です。スタート地点から競技者には歩行速度というものが言い渡されます。また、チェックポイントごとに毎回歩行速度の指示が出されます。この速度に合わせてチェックポイントを回っていきます。速すぎても、遅すぎてもいけないということです。次に、ルールです。この競技は減点が加算されていく方式で、いかに減点少なくするかで勝敗が分かれます。到着順ではありません。これらの内容は、昨年参加したからといって、容易に理解できるものではありませんでした。

ここからは、実際の競技について話したいと思います。天気は雨でした。地図の読み方などいろいろな不安を抱えつつ昨年のリベンジを果たすべく前向きな姿勢で1回目の競技が始まりました。私たちのペアは最初にスタートしました。後に続くグループは、私たちを基準に道を考えていくわけですが、私たちはスタート早々に道を間違えました。曲がり角を曲がり忘れていたのです。ここでいき先が不安になりました。しかしながら、昨年も経験していたのでなんとなく間違いに気づき、正しい道へと修正することが出来ました。その後は順調で、道も間違えることなく無事にゴールすることが出来ました。結果は、総合1位でした。とてもうれしく、昨年のリベンジを果たすことができた達成感が感じられました。自分の所属するチームも総合1位を獲得しました。しかしながら、結果は良いものの競技の内容は違っていました。そもそも完走できたペアが全チームのうちほんの一握りしかいなかったのです。競技終了後は、チーム内で反省点や注意点を話し合い、コマ地図の読み方、歩行速度など成功例や失敗例を出しながら全員

で情報を共有し、2日目の競技に備えました。2日目も天候は雨。しかしながら、参加者は初日のリベンジで燃えていたことだと思います。そして、初日の反省が功を奏し、2日目は全グループが完走することが出来ました。また、初日の夜には河合潤先生による特別講演もあり、先生の熱意あふれるお話を聞きました。五意を大切に下さい。五意とは、好意、誠意、熱意、創意、謝意のことです。また、豊かに生きることが人生で一番大切であるとおっしゃっていました。

今回のRYLAセミナーを通じて、大きく3つのことを感じました。

1つ目は、物事を正しく理解することです。自分が持っている先入観や今までの経験上こうだろうという考えをいかになくし、ありのままの事実を読み取れるかが重要だと感じました。また、様々な視点から考えてみるということも重要です。また、年齢や性別によって物事のとらえ方が違うということにも注意が必要だと感じました。

2つ目は、チームワークの大切さです。ペアは2~3人になっているため、それぞれ分業が可能でした。それぞれの得意な部分を生かすことがとても重要でした。

そして、3つ目は、コミュニケーション力です。ペアでの話し合い、チームでの話し合いはもちろん、競技中に意見の衝突があった場合の対処などとても重要です。自分の意見をはっきりと伝えることが一番大切だと思います。しかし、相手の意見も聞かなければいけません。時には、意見の食い違いが生まれます。自分の意見を通すのか、相手を尊重すべきか、いざそういった状況になったときにどう対処するかが今後必要だと感じました。

これら3つのことは、セミナーを通して実際に感じ、考えることで気づくことが出来たと思います。このセミナーで学び、気づいたことは今後の勉強やRACの活動にも生かしていきたいと思います。

このようなセミナーに2回も参加できたことは本当にいい経験になりました。また、さまざまな年齢層の人たちがこんなにたくさん一堂に会する機会のはめったにないと思います。それが出来るRYLAセミナーはとてもいい勉強の場である思いました。

最後になりますが、このようなセミナーに参加させていただき、本当にありがとうございました。また、このような発表の場を設けていただきありがとうございました。以上で発表を終了させていただきます。ご清聴ありがとうございました。

## 第7回定例理事会

日 時：平成28年1月19日（火）例会終了後  
議 題

- |                           |                    |    |
|---------------------------|--------------------|----|
| 1・例会変更の件                  | 2/23(火)→21(日)IMに振替 | 承認 |
| 2・2月例会スケジュールの件            |                    | 承認 |
| 3・年末家族親睦会収支決算書の件          |                    | 承認 |
| 4・地区大会予算案の件               |                    | 承認 |
| 5・IMの件                    | 2/21(日)点鐘13:00     | 承認 |
| 6・15-16年度中間決算報告の件         |                    | 承認 |
| 7・米山奨学生世話クラブとカウンセラー引き受けの件 |                    | 承認 |

2015-2016 年度

銚子・銚子東RC 合同例会プログラム

日 時 平成 28 年 1 月 27 日 (水) 点鐘 18 : 30  
場 所 太陽の里

<合同例会>

18 : 00

登 録 (受付) 両クラブ親睦活動委員会  
(進行) 小林 昭弘 副 SAA (銚子 RC)

18 : 30

点 鐘 宮内 龍雄 会長 (銚子 RC)

国歌・君が代 斉唱

ロータリーソング「四つのテスト」

ソングリーダー 坂本 尚史 (銚子 RC)

お客様紹介 小林 昭弘 副 SAA (銚子 RC)

会長挨拶 宮内 龍雄 会長 (銚子 RC)

幹事報告 佐藤 直子 幹事 (銚子 RC)

18 : 45

卓話者紹介 佐藤 直子 幹事 (銚子 RC)

18 : 50

卓 話

「七代目が語る二宮金次郎

～激動の時代を生き抜く秘訣～」

リレイト代表 京都大学博士 (教育学)

中桐 万里子様

19 : 50

謝 辞 宮内 龍雄 会長 (銚子 RC)

出席報告 両クラブ出席委員長

19 : 55

閉会点鐘 宮内 龍雄 会長 (銚子 RC)

<懇親会>

(進行) 櫻井 公恵 親睦委員長 (銚子 RC)

20 : 00

会長挨拶 藤崎 一成 会長 (銚子東 RC)

乾 杯 釜谷 藤男 副会長 (銚子東 RC)

「手に手つないで」

21 : 30

閉会挨拶 島田洋二郎 副会長 (銚子 RC)

2 月例会スケジュール

第 1 例会 2 月 2 日 卓話「未定」釜谷 藤男 会員

第 2 例会 2 月 9 日 卓話「未定」

元米山奨学生 (モンゴル)

シルネン・ブヤンジャルガル 氏

第 3 例会 2 月 16 日 卓話「未定」

宝醤油(株) 品質保証部 監査役 菅原 周一 氏

第 4 例会 2 月 23 日 休会 (2/21(日) I.M に振替)

宮内幸雄会員ご令嬢誕生おめでとうございます!



前回の例会 (1/19) 報告

点 鐘 藤崎 一成 会長

出席報告

会員総数 37 名 出席規定除外数 5 名

出席者 24 名 出席率 68.57 %

12月22日 確定出席率 100 %

来訪ロータリアン

杉山俊明君 (銚子 RC)

欠席者 11名

メイクアップ

網中君 藤崎君 長谷川君 星野君 石井君

宮川君 宮内(博)君 中川君 (1/19理事会)

スモールコインBOX

小 計 ￥ 2,450-

累 計 ￥ 41,016-

ニコニコBOX

累 計 ￥ 220,330-

銚子東ロータリークラブ

銚子市三軒町19番地の4 銚子商工会館内 TEL0479(23)0750 FAX0479(25)8789

メール [c-higashirc@tcs-net.ne.jp](mailto:c-higashirc@tcs-net.ne.jp) URL <http://www.tcs-net.ne.jp/~rc>

例会日時及会場 毎週火曜日 12時30分点鐘 銚子商工会館5階大会議室

会長 藤崎 一成 副会長 釜谷 藤男 幹事 星野 隆

R. I 第2790地区

クラブ広報・会報委員会 飯田貴之・幸保正東・宮川雅夫・宮内勝利・宮内宗一・杉浦 武

表紙題字 網中喜一郎初代会長

ほととぎす 銚子は国の とっぱずれ

古 帳 庵

江戸小網町の豪商鈴木金兵衛夫婦 (古帳庵 古帳女) が銚子に遊んだときに

詠んだもので、この碑は圓福 (円福) 寺に現存する。